



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2016/6/16発行

第9号

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

第2回
中央ワークショップ

第2回中央ワークショップ 3人のメンターとの出会い

専門メンターの 講義に興味深々

6月11日、地球市民研修院となる予定の施設で、建築に興味を持つ2人のベンジャミン生徒のために1級建築士の岩田郁子メンターの個別講義が行われました。



▲ 技術職員として17年間西宮市役所に勤務、1級建築士の岩田郁子さん（写真左）

小林奈津希さんと西巻穂香さんは小さいときから建物を見たり積木遊びが好きで、テレビで家のリフォーム番組を見たことがきっかけで建築の仕事に興味を持ったそうです。
岩田さんから図面の説明を受けた後、建物を歩いて図面の中にあつた窓や壁の素材を実際に



▲ 「あつたらいいなと思ったら、まず手を動かしてやってみてください」とアドバイス

見て回りました。「こんなふうに変えたら楽しいだろうな」と話は盛り上がります。

メンター講義を受けた小林奈津希さんは「面白さを知ることができた。話を聞いてもっと興味湧いてきた」西巻穂香さんは「図面だけで全てがわかることを知った」と新しい世界に触れた喜びを語ってくれました。

国内外の 国際メンター

12日から始まった中央ワークショップでは、1日目に人工知能と自然知能（ヒューマンプレイ）についてIBREA局長の

ジャン・サイ国際メンターのオンライン講義がありました。「ロボットや動物にはできないが人は未来を予測することはできません。皆さんはどんな目標をもっていますか？自分の可能性を育てて、思いっきり自分の夢を広げてください」と激励しました。

生徒からは「自然知能を鍛えていきたい」「人間しか持っていない能力を育てていきたい」「創造力をつけていきたい」「自分の可能性を広げていきたい」などの感想が聞かれました。



▲ ジャン・サイIBREA局長のオンライン講義

2日目には「人間性英才としての自己表現」について声優や俳優、ナレーターとして活躍されている平辻朝子国際メンターの講義がありました。

「赤ちゃんのときは自己主張できていたのに、今は失敗したら恥ずかしいかと思って表現できないのはなぜだろう？ベンジャミン学校は失敗しても大丈夫と



▲ 声優や俳優、ナレーターとして活躍されている平辻朝子さん

伝えていきます。誰も嘲笑う人はいません。挑戦する勇気を出してほしい」というメッセージから講義はスタート。ペアになり、ボールを使って意識と声の出し方について学びました。スピーチ練習では瞑想を行い、テーマについて自分の中から出てきた思いや考えを、自ら手を上げて全員の前で発表する勇気を体験しました。

ベンジャミン人間性英才学校は

生徒が自己価値を高めて夢を実現できるよう導く1年課程の自己主導型代替学校です。「テスト」「成績表」「宿題」「教科授業」「校舎」のない環境で、地域社会や世間を学び合ひとし、様々な出会いや体験活動を通して自分自身を見つめ直していきます。ベンジャミン学校の特徴の一つである「メンター」のサポートを受けながら、世界に役立つリーダーへと成長していきます。



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題